

現在会員登録数 215 人さま。ご愛読ありがとうございます。
さて、秋の日は「つるべ落とし」と言いますが、鶴瓶さんはテレビ出まくり！
ではなくて、日が暮れるのが早いですねえ。朝晩は随分冷え込み、紅葉が美しい季節になりました。せめて近くの公園など散歩するのも良いですね。
次号は 12 月 21 日発行の予定です／

＋----- ◇◆◇ 目次 ◇◆◇ -----＋

【1】お知らせ

【2】コラム

- 《1》 YO! この本読んだ? Yasuko's & Okiko's Talk
- 《2》 読書活動ボランティアのためのワンポイント その3
- 《3》 サイト紹介 ー子どもの本をリサーチするー
- 《4》 行って来ました!

【3】全国のイベント紹介

【4】プレゼント

■-----■
【1】お知らせ

● 講座・講演会・シンポジウム等の企画相談に応じます

当財団では、児童文学・児童文化関連の各種講座や講演会、シンポジウム等のイベント企画のご相談に応じています。作家や画家、研究者など、幅広い人的ネットワークを生かし、テーマや内容に添った講師をご紹介します。お気軽にご相談ください。

※おもな講座や講演会

- ・子どもの読書活動に関わる指導者養成の講座
- ・保護者や、子どもの本に関わる方への講演会等
- ・子どもの本の魅力を伝える講座等

教員や保育士の研修、保護者向け講習などの講師をお引き受けします。

◆ 活動報告については、

当財団HP <http://www.iiclo.or.jp/> をご覧下さい／

■-----■
【2】コラム

《1》 YO!この本読んだ? Yasuko's & Okiko's Talk

『墓場の少年 ノーボディ・オーエンズの奇妙な生活』

ニール・ゲイマン/著 金原瑞人/訳 角川書店 2010年9月

あらすじ:

イギリスの町で4人家族のうち、歩き始めた赤ちゃん以外が何者かによって殺害された。その赤ちゃんは、一人で墓場へと歩き、幽霊たちにノーボディ・オーエンズと名付けられて大切に育てられる。ノーボディは12歳になって後見人に学校へ行きたいと言い、そのことがきっかけで、家族を殺したジャックから再び命を狙われる。対象年齢:12歳以上

O: 私は最初この本をイギリスの原書で見っていたので、日本の装丁を見てびっくりしました。原書には迫力ある挿絵が効果的に入っていたので、印象が違うのです。

Y: 冒頭のページにグサッと刺さりそうなナイフの絵があってショッキングですね。

O: カーネギー賞とニューベリー賞をダブル受賞した作品ですが、新しいスタイルの作家の到来を感じます。これまでもイギリスには spooky (不気味な) と表現されるジャンルがあって主に幽霊・怪奇ものの作品をたくさん出版してきました。子どもには人気が高いのですが、読み捨てられてきたと言う印象でした。そこに、この本が出版され、ついに spooky もののおもしろさと作品としての芸術性の両方がうまく調和した作品が出版されたとうれしくなりました。

Y: 猥雑さと純粹さの両方を持ち合わせてその二つをぎりぎりのところで保とうとしている感じを受けて読みました。

O: 幽霊たちはノーボディを育てるにあたって、とても優しく教養がある。ノーボディは名句がちりばめられた墓石を読んで文字を覚え、さまざまな時代に生きた幽霊に出会うため、イギリスの文化を一身に受けて育ちます。ノーボディは学校へ行くまで墓場から出ることができませんから、幽霊に囲まれていながらも孤独です。作り方がとてもうまいと思いました。

Y: このような状況の中でノーボディは「ジャック」に命を狙われます。ジャックは切り裂きジャックを思わせますが、実は「ジャック」は一人ではありません。闇の組織のメンバーは全員ジャックと呼ばれていて姓はそれぞれに異なります。忍び寄る闇の勢力の表現も巧みです。ジャックの正体とノーボディがジャックに捕まるかどうかという謎解きを楽しむことができます。淡い恋愛もあります。ノーボディという名前もユニークですね。最後にはその名前でパスポートまでとってしまう。アイデンティティをテーマにした作品としても読むことができます。

O: 死や殺人の描かれ方、幽霊や魔女などの描かれ方、ノーボディやジャックを含む登場人物の名前の象徴性、他の文学や歴史との重なり、アニメ

ーションやゲームが意識されるような描写など、いくつもの視点で楽しめるオスズメの本です。日本の書店では、児童書コーナーには置かれていませんでした。

《2》 読書活動ボランティアのためのワンポイント その3

「グループで活動すること」

絵本を子どもたちに読んだりおはなしを語ったりする活動は、グループで行われることをおすすめします。それは、選び方、読み方などが独りよがりにならないという利点があります。自分では「この本は絶対におもしろい」と思っている、子どもの前で読む前にグループで発表したら思いもよらない問題点を指摘されて考え直すということもよくあることです。

それと同時に、グループのメンバーから紹介されて、こんなおもしろい本やおはなしがあったのかと気づいたり、話し合いの過程の中で、こんな魅力があったのかと気づくこともあります。また、グループ活動の中で子どもとは何かということについても考えることができます。

ときには人間関係が難しいと思うこともあると思いますが、絵本やおはなしという「文化」を届けるという同じ目的のために率直に意見を言い合うことができる場になれば、こんな楽しい場はないと思います。(Y)

* 次号では「図書館との連携とは」をテーマとする予定です。

質問や意見をいただきましたら、それにお答えしていきたいと思います。

《3》 サイト紹介 ー子どもの本をリサーチするー

資料検索データベース篇も3回目となりました。今回は以下のサイトです。

NACSIS Webcat 総合目録データベース WWW 検索サービス (国立情報学研究所)

<http://webcat.nii.ac.jp/>

児童文学に特化したデータベースではありませんが、大学や専門図書館などを中心に1200館以上が参加する国内最大のデータベースです(掲載書誌数は昨年1億件を突破)。近年、大学図書館に限定されていた参加資格が公共図書館や博物館、専門機関等にも開放されたことにより、稀少な専門資料や郷土資料などの検索が横断的に行えるようになりました。

大学関係者にはよく知られたサイトであり、資料検索はここも必須です。

筆者は以前、戦前の皇族関係を調べていて、ある稀覯資料を探していました。国会図書館はじめ、どこにも所蔵がなかったのですが、Webcatで検索してみたところ、思いがけずある市立図書館に所蔵があったのです。その資料がなぜそこにあるのか皆目見当もつきませんが、全国の公共図書館や専門機関がこのデータベースに参加したことで、資料がより多くの利用者の目にふれる

ことになりました。

資料の所在情報は、研究によってはとても大きな比重を占めます。コンピュータとインターネットの普及により、こうした研究資源の作成・蓄積と流通が大きな研究支援につながっています。今後さらに、特徴あるデータベースが有機的につながって連携し、シームレスに利用できることが望ましいものです。(J)

*次号は「資料所在情報データベース篇〈その4〉」の予定です。

《4》 行って来ました！

絵本作家さいとうしのぶさんの講演会「『あっちゃんあがつく』ができるまで～絵本ができるまでのタネあかし～」に行ってきました。会場の吹田市立中央図書館には、雨の日にもかかわらず、子どもから大人までたくさんの人が集まっていました。

舞台上には布シートで覆われた長い机。ややあって、コック姿で颯爽と登場したさいとうさんがそのシートをめくると、たくさんの手作り絵本が食材のようにずらっと並んでいました。

そして、「それでは歌います」と歌いながら、小さく折りたたまれた布を開いていきます。開くたびに、小さな種は芽を出し、葉が増えて、最後には大きく咲いたひまわりの花が現れました。その手際の鮮やかさに、完全にさいとうさんの世界に引き込まれています。

それから、冷蔵庫や電子レンジの形をした手作りの本や、自らの著書を、歌ったり語りかけるように次々と読んでくださったのです。コピー用紙や紙皿など身近にある物を使って、しかけ絵本を作る楽しいアイデアもたくさん紹介していただきました。

おいしそうな食べ物の絵本をたくさん発表されている、さいとうさんの原点を見せていただいた気がします。ぜいたくで楽しい時間を共有できた講演会でした。(K)

【3】全国のイベント紹介

● 秋の特別展「ぜんぶ！やなせたかし！

ビールの王様・詩とメルヘン・アンパンマン etc.」

会 場：京都国際マンガミュージアム

期 間：10月2日(土)～12月26日(日)

内 容：数々の顔を持つやなせたかし氏のユーモアあふれるマンガや叙情的で美しいイラストレーションの原画作品、貴重な関連資料など、およそ300点

上記イベントの詳細およびその他の講座・講演会、展示会、公募情報については、こちらからご覧ください。↓↓

http://www.iiclo.or.jp/03_event/04_other/index.html

※イベント情報をお送りください。当財団HPに掲載させていただきます／

【4】プレゼント

今号のコラム《1》「ＹＯ！この本読んだ？」で紹介しました『墓場の少年 ノーボディ・オーエンズの奇妙な生活』（ニール・ゲイマン/著 金原瑞人/訳 角川書店 2010年）を抽選で1名の方にプレゼントします。

ご希望の方は、メールで 件名「IICLO MAGAZINE NO.3 プレゼント希望」とし、(1)お名前 (2)郵便番号・住所 (3)電話番号 (4)メールアドレス (5)このメルマガのご感想 をお書きのうえ office@iiclo.or.jp にお送りください。

締切は12月13日(月)、当選は発送をもって代えさせていただきます／

編 | 集 | 長 | の | つ | ぶ | や | き |

明日11月21日は、4回目の「おはなしモノレール」です。2年前のこと、参加していた小さな女の子が帰りかけた足を止めて、大事そうにバッグから鮮やかな赤褐色の落ち葉を1枚取り出し、「ありがとう！これ、あげる」。その美しい万博公園のケヤキの葉（たぶん）は、今も私のデスクの上で静かに輝いています。皆の熱い思いを乗せて今年も“発車”できます・・・ (A)

みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください。下記メールアドレスまでお願いします。原則として返信はいたしませんのでご了承ください。

- このメールマガジンは、ご登録いただきました皆様に配信しています。
- 配信の登録・解除・変更は、
http://www.iiclo.or.jp/m1_magazine/index.html パソコンからどうぞ
- このメールの送信アドレスは配信専用です。
- 記事の無断転載はご遠慮ください。

発行：財団法人 大阪国際児童文学館 <http://www.iiclo.or.jp/>
〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北 1-2-1 大阪府立中央図書館内
TEL：06-6744-0581 FAX：06-6744-0582
E-mail：office@iiclo.or.jp
